

平成 21 年度病害虫発生予察特殊報第 2 号

平成 21 年 12 月 2 日
静岡県病害虫防除所長

1 病害虫名 ヨツモンカメノコハムシ *Lacoptera nepalensis* Boheman

2 対象作物名 サツマイモ

3 発生経過および状況

- (1) 平成 21 年 8 月、県東部地区における家庭菜園のサツマイモにおいて、葉を食害する甲虫が発生したと病害虫防除所に連絡があった。死亡個体を横浜植物防疫所に同定依頼した結果、ヨツモンカメノコハムシ (*Lacoptera nepalensis*) であることが判明し、本県における本種の発生が初めて確認された。
- (2) 本虫は、沖縄本島以南に生息するほか、平成 11 年に長崎県、14 年に鹿児島県、20 年に宮崎県において発生が確認されている。
- (3) 病害虫防除所が調査した結果、当該菜園周辺の家庭菜園のサツマイモにおいても、本害虫の生息が確認された。

4 特徴

(1) 形態

成虫は、体長 7.5~9mm、扁平な楕円形。鞘翅の中央部は茶褐色で隆起し、周縁部は半透明の褐色で、その前方及び後方には黒色~黒褐色の大型斑紋がある(写真 1)。

幼虫は扁平な紡錘形で、胴体の周囲に枝分かれしたトゲを持つ。尾端に糞や脱皮殻を付け、背面に背負っている(写真 2 及び 3)。

(2) 分布

沖縄本島以南、中国南部、台湾、インドシナ、ミャンマー、インド

(3) 食草

サツマイモ、ノアサガオなどが知られる。

5 被害

成虫及び幼虫ともに主に展開葉を食害し、葉脈間に数mmの楕円形~不定形の穴を開ける(写真 4)。なお、通常の害虫防除を行っているほ場では実害に至らないと考えられる。また、食害痕はチョウ(鱗翅)目害虫の初期被害と類似する。

6 防除対策

- (1) サツマイモにおける本害虫の発生生態は不明であるが、生育初期の被害は生育に影響する可能性があるため、発生に注意する。
- (2) 本害虫によると思われる食害を見つけたら、展開葉を観察し、虫を見つけ次第捕殺する。

7 その他 不明な点は、病害虫防除所、農林技術研究所、農林事務所、農協に相談する。



写真1 成虫 (左は背面、右は腹面)



写真2 サツマイモの葉を食害する幼虫
(側面からの写真、矢印は尾端に付いた糞
や脱皮殻)



写真3 上方から見た幼虫
(右上が尾端、矢印は尾端に付いた糞や脱
皮殻)



写真4 成虫によるサツマイモの葉の食害痕
(葉脈間が楕円形～不定形に食害される)